

試合に際しての注意事項

1. 試合には登録した選手以外は出場できない。
2. 試合には監督を含む登録選手10名以上を揃えること、9名の場合はボール拾いの出来るスポーツに適した服装を着用した大人1名以上が揃っていること。
3. 試合開始予定時間に規定の選手数が揃わぬ場合は、そのチームは棄権とする。
決勝戦棄権のチームは次大会は参加できず、昇格も出来ない。
4. 一選手の不正はチームの責任とし、不正チームの措置は次の通りとする。
1) 試合中に発覚した場合は、相手チームの勝利とし、直ちに試合を終る。
2) 試合に勝利した後に発覚した場合は、次の試合相手のチームを勝利とする。
3) 不正チームの処分については、理事会で審議し決定する。
5. 試合を行うチームはグラウンドに到着次第、直ちに審判控室で先発メンバー表を受取り記入、**必ず試合開始の30分前迄に提出すること**。攻守はジャンケンで決める。
6. 試合には必ず監督が参加し、やむを得ず監督が不参加の場合は、参加選手の中から監督代理を選出し、先発メンバー表に記載すること。
7. ベンチは組合せ番号の若い方を一塁側としベンチ内に入れる者は登録選手、責任者、スコアラー、ボール拾い要員とする。幼児・小学校低学年者は危険防止のため原則禁止とする、**不測の事故についてはチームの責任となる**。ベンチ内外のゴミ、飲物の容器等は必ず持ち帰ること。
8. 打者、走者、捕手、そしてベースコーチは連盟公認のヘルメットを着用すること。捕手は捕手用ミットを使用し、レガース、プロテクターを着用すること、又、ファールカップの着用を奨励します。
9. グラウンド内にマスコットバット以外の素振りリング、鉄パイプ等の持ち込みは禁止する。又、試合中はグラウンド内にバットの放置を固く禁止する。特に攻撃側のチームは次打者席に置いていった前打者のバットは直ちに片付けること、次打者は、必ず次打者席に入り、素振り等は行わず低い姿勢で待つこと。
10. 内野手によるボール回しは初回の1回のみとし、その後は投手の準備投球後の捕手からの二塁への送球のみとします。
11. 守備側のタイム要求の間は、投手は捕手を相手に投球練習は出来ない。
12. ファールボールはボールの飛んだ側のチームが拾いに行き、バックネット前と裏は攻撃側のチームとし、拾ってきたボールは必ずベンチ前のバケツの水で洗ってから、球審に手渡すこと。
13. 攻守交替の際、最後のボール保持者は投手板にボールを置いてベンチへ帰ること。
14. **試合中の怪我は大小にかかわらず、直ちに又はグラウンドを去る前迄に必ず審判員に申し出ること**、後日に申し出た場合は東京都見舞金規定の対象外になります。
15. 大会会場に於いて、試合に出場中の如何にかかわらず常にアマチュアスポーツの精神にのっとり、フェアプレイとマナーを守り行動をすること、特に薬物使用及び暴力的行為は絶対に許されざる行為として、厳罰をもって処罰することとする。
16. 大沢グラウンドのネットの外側（通路、芝生の空き地等）はストレッチ、体操、ランニング以外、キャッチボール、バットの素振り、トスバッティング等は禁止となっていますので厳守のこと。
17. 試合上の規則は本年度公認野球規則書及び競技者必携書による、又、大会実施要項、及び主将会議で決められた注意事項などは必ずチーム全員に周知徹底させること。各球場毎に決められたグラウンドルールは必ず守り従うこととする。